

公 益 社 団 法 人

福岡県作業療法協会会報

第137号 令和元年10月15日発行

(事務局)

〒802-0044 北九州市小倉北区熊本1丁目9-1 ONE OFF第2ビル101号

TEL 093-952-7587 発行責任者 竹中 祐二 編集責任者 許山 勝弘

ホームページアドレス：<http://www.fuku-ot.org/>



特集：脳卒中後の自動車運転再開

目次

巻 頭 言 『第1回九州作業療法学会を終えて』	・・・1
公益社団法人福岡県作業療法協会 副会長 濱本 孝弘	
会長行動	・・・2
特集：脳卒中後の自動車運転再開	・・・4
産業医科大学病院 飯田 真也	
2019年度第3回公益社団法人福岡県作業療法協会理事会議事録	・・・10
各部・委員会からのお知らせ	・・・13
Occupation：私の生活すべて	・・・18
株式会社LikeLab 保育所等訪問支援Switch 藤川 貴子	
リレーエッセイ：	・・・19
一般財団法人 平成紫川会 小倉記念病院 一ノ瀬 拓朗	



巻 頭 言 『第1回九州作業療法学会を終えて』

公益社団法人福岡県作業療法協会 副会長 濱本 孝弘

令和元年6月22・23日北九州国際会議場にて第1回九州作業療法学会を開催いたしました。会員参加者785名、学生85名、ボランティア61名、市民等一般参加者63名、合計994名の1000人規模の学会となりました。まずは、来賓でご挨拶を頂戴しました北橋健治北九州市長、松田峻一良福岡県医師会会長、並びにご列席いただきました日本作業療法士協会中村春基会長、福岡県理学療法士会西浦健蔵会長、福岡県言語聴覚士会佐藤文保会長に心より感謝申し上げます。また、ご講演いただきました講師の皆様、ご出展並びに協賛いただきました企業・養成校様にも改めまして感謝申し上げます。今回初の試みで学生発表も企画いたしました。作業療法士顔負けの発表あり、学生視点からの非常に興味深い発表あり、とても充実した内容で発表いただきました。ポスターや口述発表においても合同学会以上に精神科の発表も増え、多彩な内容となりました。短期間であったにもかかわらず発表いただきました皆様、ご参加いただきました皆様、お陰様で大変盛り上がる稀にみる盛大な学会となりました。本当にありがとうございました。

テーマは「Stay Gold」～作業療法士が描く未来予想図for2025～、障害を持とうが持つまいが年齢を重ねようが、ありのままの自分で輝いて暮らしてほしいという意味で掲げました。そのために、私たち作業療法士は、何を学び、何を考え、どのように行動したらよいのか、それを考える学会にしたいそんな思いのもと、企画しました。

基調講演では人口問題を中心としてこれからの日本が抱える課題について整理していただき、それを受けて、日本作業療法士協会の対策や作業療法士としての方向性を示唆していただきました。その後、各分野の対象者が輝くために長年、現場で実践されてきた作業療法士にその展開をご講演いただき、シンポジウムでは九州各県の士会長から、これらの課題に対して各県での地域課題や取り組みを報告いただきました。その間、イベントホールでは、企業展示、学生発表そして当事者がその場で絵を描くライブペイントなど盛りだくさんの企画でした。レセプションでは東北学会レセプションとインターネット回線をつなぎ、志井田前会長に感謝を込めて、ご本人に神輿に乗っていただき、各士会長が担ぐというパフォーマンスも披露され大いに盛り上がりしました。最終日の市民公開講座では、「ユニークな子どもの力を伸ばす」というテーマで、周りの社会が変われば障害の程度も変わる。むしろ受け入れ方が変わることで子どものユニークな特性が能力に代わるという、これからの作業療法の大きなヒントをいただき学会は幕を閉じました。

この学会を開催するにあたり、準備期間が1年半、第1回目で、参加者の見込みが不明確な状況ということで外部委託を必要最小限にしました。その結果、学術局では手作業での演題振り分け・査読調整及び集計などかなりのご負担をかけ、運営局にもなるべく費用をかけないよう人の手配や配置の工夫、レセプション準備など本当に尽力いただきました。予算から決算まで、赤字を出さないよう工夫に工夫を重ね学会終了後も非常に多忙な時間を費やした事務局、そして運営委員皆さんを見事に統括指揮していただきました有久実行委員長、それぞれのもとで活動していただきました運営委員、ボランティアの皆様、本当にお疲れ様でした。学会長・副学会長ともども心より感謝申し上げます。お陰様で、充実した奇跡的な学会となりました。

最後にはなりませんが、本学会の相談役として志井田前会長および中川前事務局長にも大変お忙しい中、貴重なお時間をいただきまして的確なアドバイスをいただきましたこと深く感謝申し上げます。学会長を務めさせていただきまして、とても貴重な経験をさせていただきました。“感謝”の言葉しか思い浮かびません。本当にありがとうございました。最後に一言、「やっぱり作業療法は愛だ!!」これにて、第1回九州作業療法学会の幕を閉じたいと思います。

会長行動（令和元年6月～9月）

- | | | |
|----|----|---------------------------------------|
| 6. | 15 | JIMTEF災害医療研修ベーシックコース 出席 |
| | 16 | 場所：兵庫県柔道整復師会会館 |
| 6. | 17 | 第21回九州作業療学会準備委員会 出席 |
| | | 場所：麻生リハビリテーション大学校 |
| 6. | 20 | 福岡県介護ロボットニーズ・シーズ連携協調協議会① 出席 |
| | | 場所：麻生リハビリテーション大学校 |
| 6. | 21 | 九州作業療法士会会長会，沖縄合同学会監査，九州学会引継ぎ会議 出席 |
| | | 場所：北九州国際会議場 |
| 6. | 22 | 第1回九州作業療学会 出席 |
| | 23 | 場所：北九州国際会議場 |
| 6. | 25 | 地域包括ケアシステム推進会議 出席 |
| | | 場所：いきいき那珂デイサービスセンター |
| 6. | 26 | ひまわり太極拳指導者との顔合わせ（百万人の介護予防事業関連） 出席 |
| | | 場所：北九州市認知症介護予防支援センター |
| 6. | 27 | 臨床実習指導者研修制度に関する協議会② 出席 |
| | | 場所：麻生リハビリテーション大学校 |
| 6. | 29 | 福祉用具相談アドバイザー会議 出席 |
| | | 場所：TKP博多筑紫口ビジネスセンター 7階 |
| 6. | 30 | 地域ケア会議ステップアップ研修会 出席 |
| | | 場所：リファレンス大博多貸会議室 |
| 7. | 11 | 第1回リハビリテーション委員会 出席 |
| | | 場所：TKP博多駅筑紫口ビジネスセンター |
| 7. | 11 | 福岡県介護ロボットニーズ・シーズ連携協調協議会② 出席 |
| | | 場所：麻生リハビリテーション大学校 |
| 7. | 12 | 麓刑務所看守長面談 出席 |
| | | 場所：福岡県作業療法協会事務所 |
| 7. | 14 | 『児童福祉領域における作業療法』意見交換会，懇親会 出席 |
| | | 場所：北九州市総合保健福祉センター（アシスト21） |
| 7. | 18 | 百万人の介護支援事業；橋元学長補佐へのあいさつ 出席 |
| | | 場所：九州栄養福祉大学 小倉南区キャンパス |
| 7. | 19 | 太陽生命 担当者挨拶対応 出席 |
| | | 場所：麻生リハビリテーション大学校 |
| 7. | 22 | 「福岡県理学療法士会・作業療法士会・言語聴覚士会連絡協議会」世話人会 出席 |
| | | 場所：麻生リハビリテーション大学校 |
| 7. | 25 | 新産業振興課訪問挨拶（介護ロボット事業関連） 出席 |
| | | 場所：福岡県庁商工部 |
| 7. | 27 | 第2回47都道府県委員会 出席 |
| | 28 | 場所：TKP築地新富町カンファレンスセンター |
| 7. | 30 | 県福祉労働部福祉総務課長挨拶 対応 |
| | | 場所：麻生リハビリテーション大学校 |

8. 5 第3回理事会 出席
場所：らそうむスポーツガーデン
8. 8 福岡県介護ロボットニーズ・シーズ連携協調協議会③ 出席
場所：麻生リハビリテーション大学校（台風接近により8/6実施分を延期）
8. 16 福岡県介護ロボットニーズ・シーズ連携協調協議会 シーズ班ワーキング 出席
場所：産業技術総合研究所九州センター
8. 21 福岡県介護ロボットニーズ・シーズ連携協調協議会 シーズ班ワーキング 出席
場所：産業技術総合研究所九州センター
8. 26 臨床実習指導者講習会準備会・懇親会 出席
場所：麻生リハビリテーション大学校
9. 4 福岡県介護ロボットニーズ・シーズ連携協調協議会 ニーズ班ワーキング 出席
場所：久山療育園重症児者医療療育センター
9. 7 福岡県理学療法士協会50周年記念式典・祝賀会 出席
場所：ホテル日航福岡
9. 7 生活行為工夫モデル事業に係る意見交換会 出席
場所：ガーデンシティPREMIUM博多駅前
9. 11 臨床実習指導者講習会 筑後ブロック会議 出席
場所：国際医療福祉大学 福岡保健医療学部 2 号館
9. 16 臨床実習指導者講習会 出席
場所：国際医療福祉大学 福岡保健医療学部 2 号館



I 脳卒中患者の自動車運転再開の現状

近年、認知症患者、てんかん患者、高次脳機能障害をきたした脳卒中患者の自動車運転が社会的に注目を集め、様々な診療科においても関心が高まっている。リハビリテーション（リハビリ）の領域においても自動車運転再開を望む多くの脳卒中患者に対応すべく、2017年1月より「日本安全運転・医療研究会」が発足し、日本作業療法士協会においては2016年に運転と作業療法の特設委員会が立ち上げられるなど自動車運転再開支援の動きが活発になっている。脳卒中患者525名に行った自動車運転再開の実態調査¹⁾によると、退院時の自動車運転再開希望者は70%近くに上っており、運転再開のニーズは高く社会生活において重要である。

脳卒中患者の自動車運転再開は、「一定の病気に係る免許の可否等の運用基準」において、認知症やてんかんなど、免許取り消しとなる病気がないことを確認すると同時に、麻痺や失調、視覚、聴覚機能といった身体機能障害を評価し、机上評価や運転シミュレーター検査などの医学的評価で、失語症、注意障害、視空間認知障害、遂行機能障害、記憶障害などの高次脳機能障害は軽度または回復したことを確認する必要がある。これらを加味して、自動車運転再開の可否を検討する必要があるが、全国的に手順や評価基準は統一されていない。本稿では、脳卒中患者の自動車運転再開までの流れ、自動車運転にかかわる医学的管理、身体機能、高次脳機能、運転シミュレーターについて述べ、さらに自動車運転に関する作業療法士の取り組み、福岡県での自動車運転再開に向けた取り組みを紹介する。

II 脳卒中患者の自動車運転再開までの流れ

1. 概要

現在、免許の拒否又は保留の事由となる病気等のうち、道路交通法施行令第33条第2項第3号では、「自動車等の安全な運転に必要な認知、予測、判断又は操作のいずれかに係る能力を欠くこととなるおそれがある症状を呈する病気」と記載があり、脳卒中患者はこれに該当する。そのため、自動車運転再開の前に臨時適性検査を受ける必要がある。ただし、公安委員会より運転能力に関する診断書の記載を求められることが多いため、事前に医学的問題を評価する医療機関が多いのが実態であろう。

脳卒中患者の自動車運転再開には統一した手順や判断基準が未確立であり、対応がそれぞれの地域や施設によりさまざまであるという問題がある。我々は2013年から「自動車運転再開とリハビリテーションに関する研究会」を3回にわたり開催し、判断基準案²⁾を提案した。自動車運転再開の

流れとして、医療機関では、身体機能、医学的管理状況を把握し、どの程度の高次脳機能障害までなら一般ドライバーと事故率に差がないのかなど、自動車運転に支障を生じるほどの高次脳機能障害がないかどうかを診察所見や神経心理学的検査、運転シミュレーター、生活状況などを含めて総合的に判断する。また、医療機関で運転再開可能と判断した場合、指定自動車教習所での実車教習を受けることを提案している。その後、医療機関、教習所ともに運転再開可能と判断した場合に、公安委員会での運転適性相談、臨時適性検査を受けるように勧めている。

2. 自動車運転にかかわる医学的管理

自動車運転中の体調変化による死亡例の原因として、虚血性心疾患、脳血管疾患、大動脈疾患が多く、ほとんどの運転者が高血圧、心疾患、糖尿病などの既往歴を持っていたと報告されている³⁾。脳卒中患者においても高血圧、心疾患、糖尿病含む様々な合併症を持つことが多く、自動車運転再開において注意が必要となる。また、てんかんをきたす患者が多く存在し、2002年の改正道路交通法で絶対的欠格事由から相対的欠格事由となった。これより、自動車の運転への支障の有無により免許取得の可否が判断されるが、発作が過去2年以内に起こったことがなく、今後、発作が起こるおそれがない旨の診断を医師が行った場合など、運用基準の要件を満たせば免許を取得できるようになった。これらを踏まえ、脳卒中後の合併症に対し、服薬状況なども考慮し、医学的管理が十分にされているか確認することが重要となる。

3. 自動車運転に関する身体機能

自動車運転において、ドライバーは認知・予測・判断・操作を適切に繰り返すことで、安全運転を実現している。認知には、運転に必要な多くの情報を獲得する視覚機能および聴覚機能が重要な役割を果たし、普通免許の適性検査試験合格基準（表1）を満たすことが必要となる。適切な認知・予測・判断が行われたのち自動車を適切に運転するためには、アクセルやブレーキペダルを操作する下肢機能、ハンドルや方向指示器などを操作する上肢機能を評価し、麻痺等の問題があっても表1の運動能力の項目を満たすことを確認する。運動能力に問題があっても改造により運転は可能な場合があるため、どの程度の麻痺であれば運転可能か、改造または運転補助装置の適応範囲であるかの判断が重要となる。例としては、重度の上肢の麻痺を呈した場合は、片手でハンドルの旋回が可能となるステアリンググリップを装着する、左右の麻痺手に応じてウインカーやワイパーレバーを延長する、重度の右下肢麻痺を呈した場合は簡便に取り付け可能な左アクセルペダル装置

や手動によりアクセル・ブレーキ操作が可能な手動運転装置を導入する，などが挙げられ，改造，運転補助装置の適応があるのか，どのような種類を用意する必要があるのか，知識を習得することが求められる。

4. 自動車運転にかかわる高次脳機能

自動車運転再開において一般的な知的機能が保持されていることは前提であるが，Regarは，知能，注意，視空間認知，記憶，遂行機能，言語の中で特に路上運転では「注意機能」，「視空間認知機能」が重要と報告している⁴⁾。一般に，運転時に受容する感覚形式の90%は視覚であると言われており⁵⁾，「注意機能」は，聴覚性と比較して視覚性注意がより必要となる。臨床的には全般性注意と方向性注意があり，全般性注意は信号や標識，障害物など注意すべき対象に注意を向ける「持続・選択」，変化する状況に応じた注意の「転換」，同時に前後左右の自動車，対象物に注意を払う「配分」などに分けられ，いずれも自動車運転には欠かせない機能である。方向性注意の障害には半側空間無視があり，特定の方向に対する情報の見落としが明らかな場合には運転適性はないと判断する。また，対象物や他車と自分の車との距離感の把握などを司る「視空間認知機能」も重要で，他車の速度や走行方向の把握に利用される。その他の機能として道路標識など文字の把握を行う「言語機能」，位置情報や速度，標識内容の「記憶」，どのようなルートで目的地に効率よく移動するかといった運転のプログラムを立てる「遂行機能」も自動車運転には重要である。

5. 神経心理学的検査

「自動車運転再開とリハビリテーションに関する研究会」で推奨している評価を以下に5つ挙げ

る。Mini-Mental State Examination (MMSE)⁶⁾は知能のスクリーニングや認知症の除外として活用でき，脳卒中患者の路上評価⁷⁾，運転再開⁸⁾の予測因子に有用との報告がある。また，Trail Making Test (TMT)⁹⁾は自動車運転に必要な視覚的な注意の配分や転換を評価するスクリーニングとして簡便に行うことができ，路上評価の予測因子に有用¹⁰⁾との報告があり，運転再開に関する机上課題の質問調査¹¹⁾によると，わが国で用いられている机上課題の中で最も多くの施設で使用していたと報告している。Rey-Osterriethの複雑図形(ROCF)¹²⁾は視空間認知機能を評価するスクリーニングとして重要であり，路上評価の予測因子に有用¹³⁾との報告がある。また，遂行機能を評価するスクリーニングとしてのFrontal Assessment Battery (FAB)¹⁴⁾，聴覚的な言語記憶を評価するスクリーニングとしての標準言語性対連合学習検査 (S-PA)¹⁵⁾は認知機能が認知症の範疇にないことの確認のために重要な評価として推奨している。

その他，課題中に情報を検索，弁別，処理ないし貯蔵しうる注視点の周辺領域を指す有効視野も自動車運転に重要な要素であり，この視野を反映した検査としてProcessing speed test, Divided attention test, Selective attention testの3つの視覚処理スクリーニング検査からなるUseful Field Of View (UFOV)^{*}があり，脳卒中の路上評価の予測因子として有用¹⁶⁾などの報告が散見されている。また最近ではStroke Drivers' Screening Assessment日本版¹⁷⁾が作成され，運転適性評価として実施が広まってきている。

表1. 普通免許の適性試験合格基準

視力	・両眼で0.7以上，かつ一眼でそれぞれ0.3以上であること。 ・一眼の視力が0.3に満たないもの，または一眼が見えないものについては，他眼の視野が左右150度以上で，視力が0.7以上であること。
色彩識別能力	・赤色，青色および黄色の識別ができるもの。
聴力	・両耳の聴力（補聴器により補われた聴力を含む。）が10メートルの距離で，90デシベルの警音器の音が聞こえるものであること。
運動能力	・道路交通法施行令第38条の2第4項第1号又は第2号に掲げる（体幹の機能に障害があって腰をかけていることができないもの，四肢の全部を失ったもの又は四肢の用を全廃したもの）身体の障害がないもの。 ・自動車等の安全な運転に必要な認知又は操作のいずれかに係る能力を欠くこととなる四肢又は体幹の障害があるが，規定による条件を付すことにより，自動車等の安全な運転に支障を及ぼすおそれがないと認められること。

6. 運転シミュレーター

運転適性を評価する最も確実な方法は路上運転評価とされているが、高次脳機能障害を持った患者や、高齢運転者に路上運転を実施することは危険であり、安全で簡便な運転シミュレーターが有用になる。シミュレーターの種類としてはHondaセーフティナビや、我々が開発した簡易自動車運転シミュレーター（Simple Driving Simulator：SiDS；図1）¹⁸⁾などがあり、Hondaセーフティナビはより現実的な運転技能を必要とし、SiDSは主に自動車運転に必要な認知機能を反映するもので、評価や訓練場面などそれぞれの用途により、特徴を考慮し使用することを推奨する。

Ⅲ 自動車運転に関する作業療法士の取り組み

近年、自動車運転に関する動きが全国的に活発になり、日本作業療法士協会においては作業療法士による支援を推進することを目的として2016年に運転と作業療法の特設委員会を立ち上げた。主な活動としては①免許行政や運転者教育機関等の他団体との連携を行う②制度や研究動向について情報収集し情報発信を行う③テキスト等の開発等により啓発を行う④研修システムを構築し、運転支援に関わる人材育成を行うことなどが挙げられる。また日本作業療法士協会HPより、作業療法士による自動車運転支援のパンフレットや様々な疾病の事例集、自動車運転に関する関連記事など閲覧可能なため参考にしていただきたい。

現状の臨床場面での取り組みとしては、病院等で運転再開の可否の判断を行い診断書を作成するのは医師であり、作業療法士は医師に対し、評価結果や評価場面の患者の様子などを伝え、運転再開の可否に関する判断材料を1つでも多く提供することが望まれる。また運転再開を希望する患者を適切に評価し、必要があれば認知機能訓練やシミュレーター訓練など能力に応じた介入を行う必要がある。さらに運転再開が困難な患者に対し、代替手段の情報を提供することも作業療法士の役割の1つであろう。

Ⅳ 福岡県の自動車運転再開に向けた取り組み

「日本安全運転・医療研究会」の事業内容の中に「各地域における支部活動の推進」を挙げており、地方会としての活動が推進されている。また、自動車運転再開および停止の判断は医療機関での医学的評価、教習所での実車教習など包括的評価が必要であり、相補的連携が重要であると再確認し、福岡県内で「自動車運転再開とリハビリテーションに関する研究会」が母体となり、研修、連絡、協議から構成される「福岡県安全運転医療連絡協議会」を2017年4月に発足した。

研修では主要メンバーによる「自動車運転再開や停止に必要な診療、評価、訓練、判定基準、診断書の書き方、実車教習、指導方法など」を、連絡ではテーマに応じて福岡県警本部や運転免許試験場、行政関連部署の方々に「制度、法改正、施

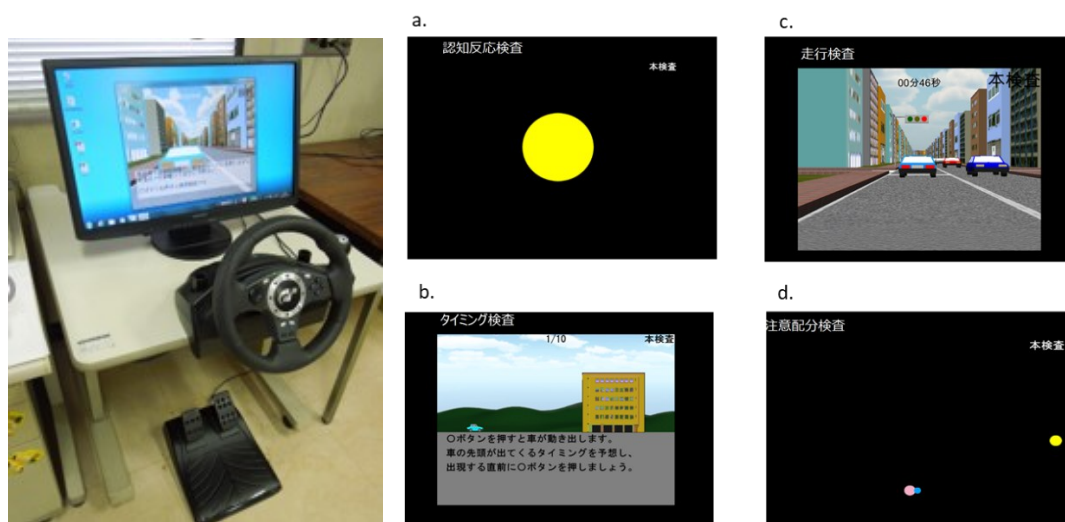


図1. 簡易自動車運転シミュレーター検査

- 認知反応検査：画面中央に赤・黄・青の3種類の刺激をランダムに提示し、それぞれの刺激に応じ、「赤はブレーキを踏む」「黄はアクセルから足を離す」「青はアクセルを踏み続ける」の操作をできるだけ早く行わせる。
- タイミング検査：車型のオブジェクトが画面左側から一定速度で走行しビルの陰に隠れ出てくると思ったタイミングでハンドルに付いているボタンを押す。
- 走行検査：ハンドル、アクセル・ブレーキを使用し、画面上で先行する車を交通ルールに従い追従する。
- 注意配分検査：基本的には前述した「認知反応検査」と同様の行動を行うが、画面の左・中央・右にランダムに赤、黄、青の信号が提示される。一方、画面に不規則に左右に移動するピンクの円が表示され、ハンドルを左右に回転させるように操作すると青の円が左右に移動するので、ピンクの円に青の円を近づけるように追従させる。

策、その他の情報交換」を、協議では「評価内容
と手順、再開や停止の基準、評価や判定の統一、
連携、その他」を執り行うこととした。主な参加
者は、福岡県内において自動車運転に関する診
療、診断書作成、評価・訓練や助言を行う医療関
係者、実車教習や指導に関与する指定自動車教習
所関係者としている。

これまでの成果としては、協力病院や自動車教
習所の募集、「指定自動車学校への実車教習およ
び情報提供書（表2）」、「実車教習報告書（表
3）」の検討・決定を行い、10の自動車教習所が
実車教習受け入れ可能施設として登録された。ま
た、医療機関がどのような手順でどの自動車教習

所に依頼すれば良いか難渋していた状況を解消す
べく、産業医科大学リハビリテーション医学講座
のホームページの研究会のページから登録され
た自動車教習所の一覧が確認できるようにし、情
報提供書・実車教習報告書用紙のダウンロードを
可能とした。今後の課題は、実車教習可能な教習
所数の地域差を解消するために協力可能な教習所
を募集し充実を図ることである。また、県内で必
須で実施する神経心理学的検査を統一し、協議を
行いながら妥当性のある判定基準を提案すること
、実車教習依頼書や報告書を使用した事例検討を
通して再検討を加え、自動車運転再開や中止に向
けた流れを統一していくことが必要と考える。

表2. 指定自動車学校への実車教習および情報提供書

指定自動車学校への実車教習依頼および情報提供書 Ver. 2.3

指定自動車学校

様

下記の者は、☐ 臨床症状、☐ 神経心理学的検査、☐ 簡易自動車運転シミュレーターまたは
☐ その他のシミュレーター検査を行い、医学的には実車教習可能と判断しました。貴施設内および
路上で実車教習を実施し、運転および必要に応じて補助装置等に関するご意見をお知らせ下さい。

_____年____月____日

病院 科

担当者名

Tel..... Fax.....

患者氏名：_____ 年齢：_____歳 ☐ 男・☐ 女

病名：☐ 脳卒中、☐ 脳外傷、☐ 前記以外の高次脳機能障害、☐ 認知機能低下、
☐ その他（_____）

発症時期：_____年____月 今後の病気の推移：☐ 安定または改善の可能性、☐ 悪化の可能性

視覚機能：☐ 運転可^①、☐ 不明 <運転不可であれば、実車教習の適応外>

聴覚機能：☐ 運転可^②、☐ 不明 <運転不可であれば、実車教習の適応外>

言語機能：☐ 正常、☐ 失語症（□口頭理解が困難、□発語が困難）

☐ 重度失語症^③ <失語症が高度であれば、実車教習の適応外>

上下肢体幹機能：☐ 障害なし、☐ 障害あり⇒部位と程度を下記に示すこと。

障害部位：☐ 右側の上下肢麻痺、☐ 左側の上下肢、☐ 両側の上下肢

☐ 両側の下肢、☐ その他（_____）

障害程度：☐ 運転に支障なし

☐ 運転に支障はあるが運転は可。補助装置や代償手段を要する場合もある。⇒

☐ 運転に支障があり運転不可。 <運転不可であれば、実車教習の適応外>

高次脳機能：☐ 正常、☐ 障害あり⇒障害と程度を下記に示すこと。

全般的な知能：☐ 正常域、☐ 障害域（Mini-Mental State Examination など）

記憶：☐ 正常域、☐ 障害域、☐ 不明（標準言語性対達合学習検査 SPA など）

注意：☐ 正常域、☐ 障害域、☐ 不明（Trail Making test など）

視空間認知（車や人・物体との位置関係）：☐ 正常域、☐ 障害域、☐ 不明（Rey の図など）

逆行機能（操作の円滑な実行）：☐ 正常域、☐ 障害域、☐ 不明

（前頭葉評価バッテリーなど）

半側空間無視^④（一側への注意の欠落、見落とし）：☐ 正常域、☐ 障害域

<半側空間無視が障害域であれば、実車教習の適応外>

その他：

簡易自動車運転シミュレーター^⑤

総合評価：☐ 運転適性あり、☐ 運転適性なし、☐ 境界 ⇒

特記事項：

表3. 実車教習報告書

氏名： _____ [] 男性 [] 女性 年齢： _____ 歳

実施日： _____ 年 _____ 月 _____ 日 担当者： _____

		0	1	2	
走行	スムーズな加速をする				検定成績表に基づき 該当する欄に(○)を入れて ください。 0, 1, 2 の基準は下記 の通りとします。
	安全速度内で速度を保つ				
	車線内で適性位置を保つ				
	安全な車間距離を保つ				
	スムーズに減速する				
	完全に停止する				
進路変更	適切に指示器を出す				0: 常に～しばしば問題 を生じる。 1: いくつかの場面で問 題を生じる。 2: 全ての場面で問題 はない。
	安全を確認し死角をなくす				
	速度を保つ				
交差点・ 標識	信号に注意し遵守する				
	右折または左折する際は方向指示器を使う				
	歩行者に注意し対応する				
	適切な位置で停止する				
	交通標識に注意し指示に従う				
	他車を十分に視覚的に確認する				
駐車	安全にバックできる				
	指示した場所に駐車する				
運転態度	状況に応じて通行権を譲る				
	他車にイライラしたり感情的な運転行動になる				
	他車の邪魔をするなど社会的マナーを守らない				
	注意が散漫で気が散りやすい				
判断	指示を適切に理解し実行する				
	無理のない適切な判断をする				
支援	教官が補助ブレーキを使う状況がある				各評価点を集計し 合計点を記入してくだ さい。
	教官がハンドル操作を補助する状況がある				
	小計				
	合計	点/50 点			

Novack TA, et al.(Brain Inj 2006) Driving Assessment Scale (DAS)を一部改定。

総合判定

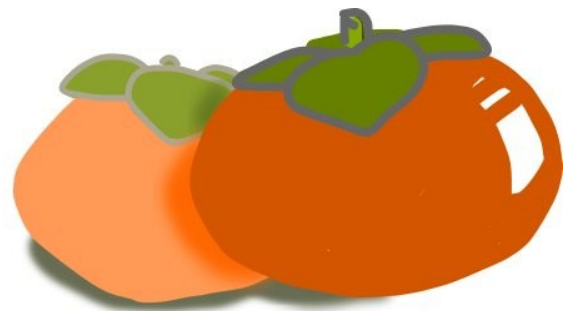
- [] 0: 現状では、安全運転をするのは難しいと思われる。
 [] 1: 再度、実車での安全運転練習等が必要と思われる。
 [] 2: 条件付きで安全運転可能と思われる。
 [] 3: 良好と思われる。安全運転に努めて下さい。

総合判定が2または3の者に、必要があれば該当箇所(○)を入れ、安全運転への助言を示して下さい。

- [] 助手席に家族が同乗し、安全を確認するようにして下さい。
 [] 右の状況で運転して下さい：□日中 □好天 □車や人が少ない道路 □慣れた道路。
 [] 右の状況の運転は避けて下さい：□雨天時の夜間 □疲労時 □睡眠不足時
 □混雑した道路 □高速道路 □慣れない道路。
 [] 補助装置等を検討して下さい：□ステアリンググリップ □左側アクセルペダル
 □左側方向指示器 □手動アクセル・ブレーキ

文献

- 1) 武原格, 他 : 脳卒中患者の自動車運転再開についての実態調査. 日本交通科学協議会誌 9 : 三輪書店, 51-55, 2009.
- 2) 蜂須賀研二 : 自動車運転再開の指針と判断基準案. 高次脳機能障害者の自動車運転再開とリハビリテーション2 (蜂須賀研二編著) : 金芳堂, 103-108, 2015.
- 3) 一杉正仁, 木戸雅人, 黒須明, 長井敏明, 徳留省悟 : 運転中の突然死剖検例の検討. 日本交通科学協議会誌7 : 3-7, 2007
- 4) Reger MA, Welsh RK, Watson GS, et al : The relationship between neuropsychological functioning and driving ability in dementia : a meta-analysis. Neuropsychology, 18 : 85-93, 2004.
- 5) Hartman E : Driver vision requirements. Society of Automotive Engineers, Technical Paper Series : 629-630, 1970.
- 6) Folstein MF, et al : " Mini-mental state " A practical method for grading the cognitive state of patients for the clinician. J psychiatry Res 12 : 189-198, 1975.
- 7) Elkin-Frankston S, Lebowits BK, Kapust LR, et al : The use of the Color Trails Test in the assessment of driver competence : preliminary report of a culture-fair instrument. Arch Clin Neuropsychol, 22 : 631-635, 2007.
- 8) Perrier MJ, Korner-Bitensky N, Mayo NE : Patient factors associated with return to driving poststroke : findings from a multicenter cohort study. Arch Med Rehabil, 91 : 868-873, 2010.
- 9) Reitan RM : The validity of the Trail Making Test as an indicator of organic brain damage. perceptual and Motor Skills 8 : 271-276, 1958.
- 10) Korteling JE, et al : Neuropsychological driving fitness tests for brain-damaged subjects. Arch Phys Med Rehabil, 77 : 138-146, 1996.
- 11) 二宮正樹, 加藤徳明 : 自動車運転再開のための机上課題と実車教習に関する調査. 蜂須賀研二 (編著) : 高次脳障害者の自動車運転再開とリハビリテーション<2>. 金芳堂, 京都, 60-63, 2016.
- 12) Lezak MD, et al : Neuropsychological assessment , 5th ed. Oxford University Press, New York, 499-504, 574-586, 2012.
- 13) Nouri FM, et al : Validation of a cognitive assessment : predicting driving performance after stroke. Clin Rehabil, 6 : 275-281, 1992.
- 14) B Dubois, et al : The FAB : a Frontal Assessment Battery at bedside. Neurology 55 : 1621-1626, 2000.
- 15) 日本高次脳機能障害学会 (旧 日本失語症学会) : 標準言語性対連合学習検査. 新興医学出版社, 東京, 2014.
- 16) George S, et al : Establishing criterion validity of the Useful Field of View assessment and Stroke Driver's Screening Assessment : comparison to the result of on-road assessment. Am J Occup Ther, 64 : 114-122, 2010.
- 17) 日本高次脳機能障害学会 (旧 日本失語症学会) : SDSA 脳卒中ドライバーのスクリーニング評価 日本版. 新興医学出版社, 東京, 2015.
- 18) 合志和晃, 加藤徳明 : 簡易自動車運転シミュレーター (SiDS) の使用方法. 蜂須賀研二 (編著) : 高次脳障害者の自動車運転再開とリハビリテーション<2>. 金芳堂, 京都, 98-102, 2015.



2019年度 第3回公益社団法人福岡県作業療法協会理事会議事録

I. 開催日 : 令和1年8月5日(月) 19時00分～21時30分

II. 場所 : 良創夢 リハビリスポーツセンター

III. 理事総数 : 20名

IV. 出席理事数 : 16名

V. 出席者氏名 : 竹中祐二, 福田裕樹, 平岡敏幸, 濱本孝弘, 深町晃次, 青山克実, 宮本香織, 黒木勝仁, 許山勝弘, 永田敬生, 手島智康, 田中聡, 佐藤稔, 初井剛士, 玉野和男, 松尾雅宜(以上, 理事), 吉田秀樹(以上, 監事), 田邊慎一, 鐘ヶ江秀俊(以上, 事務局)。

欠席者氏名 : 有久勝彦, 峯崎佳世子, 轟木健市, 深井伸吾(以上, 理事)。

原口健三(以上, 監事)。(敬称略)

VI. 議長, 書記選出

濱本孝弘副代表理事が開会を宣言し, 議長に定款第32条により竹中祐二理事が選出された。

ついで, 議長の指名により議事録作成に関わる職務を行う者として平岡敏幸理事, 田邊慎一氏, 鐘ヶ江秀俊氏が選出された。

VII. 議事の経過の要領及びその結果

議長は上記のとおり定足数に足りる理事の出席があったので本理事会は成立した旨を報告した。

VIII. 審議事項

1. 生活行為工夫モデル事業の協力について(平岡敏幸事務局長) →承認
一般社団法人日本作業療法士協会の生活行為工夫モデル事業の事例登録の協力について提案。
2. 長期会員の会費減額あるいは終身免除の仕組みについて(竹中祐二代表理事) →継続検討
長期会員の会費減額あるいは終身免除について提案(具体的な内容や対応部所等を検討)。
3. 作業療法フェスタ作文コンクール開催(対象:小学生)について(永田敬生事業部担当理事) →承認
作業療法啓発活動として小学生対象の作業療法フェスタ作文コンクールを来年度開催することについての提案。一部修正を行う。
4. ジャーナル「作業療法・福岡」第18号の執筆依頼について(濱本孝弘副代表理事) →承認
5. 北九州地域ケア個別会議 委託事業について(玉野和男北九州ブロック担当理事) →承認
令和1年9月1日～令和2年3月31日までの期間での北九州地域ケア個別会議へのアドバイザー参加要請があったことの報告があり, 委託事業として参加することの提案があった。
見積もり等検討し, 一部修正を行う。
6. 教育部研修会の講師承認について(青山克実教育部担当理事) →承認
教育部研修会の講師承認について以下のように講師を依頼することが報告。
身体分野研修会
加藤徳明氏(産業医科大学若松病院リハビリテーション科 診療科長 医師)
藤田佳男氏(千葉県立保健大学 准教授)
飯田真也氏(産業医科大学病院)

第1回現職者共通研修会

鐘ヶ江秀俊氏（ひなた家）
木下亮平氏（北九州リハビリテーション学院）
河野修氏（東和病院）
平岡敏幸氏（飯塚記念病院）
中津留正剛氏（産業医科大学病院）
榑井剛士氏（らそうむ）
長城晃一氏（北九州市小倉北区役所）
永田敬生氏（福岡医健・スポーツ専門学校）
大丸幸氏（九州栄養福祉大学）

7. 特別支援教育実践報告研修会講師承認について（濱本孝弘副代表理事） →承認
特別支援教育実践報告研修会の講師承認について講師を依頼することが報告。
江渡義晃氏（佐賀整肢学園からつ医療福祉センター）
8. 2019年度福岡県訪問リハビリテーション実務者研修会について（福田裕樹保険委員会担当理事） →承認
2019年度福岡県訪問リハビリテーション実務者研修会において以下のように講師を依頼することが報告。
青木穂高氏（北九州市保健福祉局 地域医療課長）
柏木秀行氏（飯塚病院 医師）
尾形由起子氏（福岡県立大学 看護学部教授 保健師）
山下亮恂氏（福岡聖恵病院 臨床宗教師）
9. 福岡ブロック研修会講師承認について（黒木勝仁福岡ブロック担当理事） →承認
福岡ブロック研修会講師承認において以下のように講師を依頼することが報告。
中藺泰浩氏（福岡市高齢社会部 地域包括ケア推進課）
山口清明氏（NPO法人はびりす 理事）
10. 福岡東ブロック研修会講師承認について（松尾雅宜福岡東ブロック担当理事） →承認
福岡東ブロック研修会講師承認において以下のように講師を依頼することが報告。
仲野悟氏（有限会社セントラル商会 2級建築士）
中津留正剛氏（産業医科大学病院）
福澤至氏（別府リハビリテーションセンター障害支援施設にじ）
11. 筑豊ブロック研修会講師承認について（榑井剛士筑豊ブロック担当理事） →承認
筑豊ブロック研修会講師承認において以下のように講師を依頼することが報告。
福田輝和氏（朝倉医師会介護支援センター センター長 理学療法士）
12. 北九州ブロック研修会講師承認について（玉野和男北九州ブロック担当理事） →承認
北九州ブロック研修会講師承認において以下のように講師を依頼することが報告。
江口真弓氏（日本スポーツコーチング協会アドバイザー＆コーチ）
13. 正会員の入会について（平岡敏幸事務局長） →承認
会員の入会について2019年5月26日から7月22日までの間に111名の入会があったとの報告。

IX. 協議事項

14. 「協会員＝士会員」実現に向けての方策と工程案について（平岡敏幸事務局長） →承認
日本作業療法士協会から2022年度に「協会員＝士会員」実現に向けての方策と工程表案が出され、意見等の回答を求められていることが報告。回答表の内容確認を行い、県としての意見をまとめ返答していく。

15. 県，市町に対する名義後援依頼について（濱本孝弘副代表理事） →承認
第23回福岡県作業療法学会での市民公開講座・イベントにおける県，市町に対する名義後援依頼について依頼先の報告.

16. 九州作業療法士会会長会主催合同研修会におけるプレゼンについて →継続検討
（青山克実教育部担当理事）
九州作業療法士会会長会主催合同研修会の企画として「リーダー育成」に関する各士会の取り組みについてのプレゼンがあげられている事，福岡県での内容確認等の依頼が来ていることの報告.
発表者や内容等の検討をしていく.

X. 報告事項（特記報告のみ記載．他，資料参照とする）

17. 代表理事行動について（竹中祐二代表理事）
2019年6月～8月の代表理事行動について報告.

18. 県協会宛て依頼案件について（竹中祐二代表理事）
2019年6月1日から7月31日までの間に県協会宛てに26件の依頼（研修会案内依頼2件，講師・委員派遣依頼11件，共催・講演依頼3件，その他依頼10件）があったと報告.

19. 第1回九州作業療法学会開催報告について（濱本孝弘副代表理事）
2019年第1回作業療法学会開催報告があった.
（令和元年6月22日・23日，参加者：総合計にて994名）

20. 臨床実習指導者講習会について（青山克実教育部担当理事）
臨床実習指導者講習会の開催内容，世話人等についての報告.

21. 第18回健康21世紀福岡県大会について（永田敬生事業部担当理事）
第18回健康21世紀福岡県大会の会議について等，報告.

22. 第30回全国ふうせんバレーボール大会について（玉野和男北九州ブロック担当理事）
第30回全国ふうせんバレーボール大会への協力依頼について報告.

X I. 次回開催日

2019年度 第4回理事会
日時： 2019年10月7日（月）19時00分～
場所： 良創夢 リハビリスポーツガーデン

X II. 閉会の言葉

以上の議事進行をもって理事会が終了した.

各部・委員会からのお知らせ

【教育部】

1. 電子会員証および研修受講カードの取り扱いについて

昨年度から導入された電子会員証が導入されました。昨年度は周知が不十分なことから、当該年度の会費納入の確認ができない電子会員証の提示でも研修参加を受け付けてきましたが、今年度より電子会員証の提示の徹底をお願いします。バーコードシステムによる研修受講受付の導入が予定されていますが、それまでは電子会員証の提示をお願いします。

2. 令和元年度主催研修会予定(詳細は県協会ホームページをご参照ください)

※研修会の案内は、協会からの郵送およびホームページで随時更新しております。

1) 福岡県作業療法協会コア研修会(新規)

本研修は、今年度新規開催の研修会となります。地域包括ケアシステムに貢献できる作業療法実践に向けて、『作業科学や作業療法理論を知識基盤として、各障害領域における実践理論を組み合わせながら実践する』作業療法のカタチを共有することを目的にしています。

日 時：令和2年3月7日(土)

場 所：麻生リハビリテーション大学校

2) 現職者共通研修

日 時：令和元年10月19日(土)

場 所：小倉リハビリテーション学院

日 時：令和2年2月15日(土)

場 所：※県学会と同日開催

3) 現職者選択研修

【必須】MTDLP基礎研修

日 時：令和元年10月20日(日)

北九州ブロック(場所：九州栄養福祉大学)

日 時：令和元年12月8日(日)

筑後ブロック(場所：調整中)

日 時：令和2年2月1日(日)

福岡東ブロック(場所：調整中)

4) 身体分野研修

日 時：11月開催予定

(日程、内容、場所調整中)

5) 発達分野研修

日 時：令和元年12月7日(土)

テーマ：発達性協調運動障害

6) 地域分野研修

日 時：令和元年9月29日(日)

場 所：福岡市内で調整中

テーマ「人を惹きつけるニーズの引き出し方
～地域でOTはどう活躍するか～」

講 師：安本 勝博氏

7) MTDLP関連研修

(1) MTDLP事例検討会

日 時：令和元年11月13日(水)19:00～

(筑後ブロック) 場所：調整中

日 時：令和2年1月19日(日)

(福岡東ブロック) 場所：調整中

日 時：令和2年1月22日(水)19:00～

(筑後ブロック) 場所：アザレアホール

(2) MTDLP事例の書き方研修会

日 時：令和元年10月6日(日)(筑後ブロック)

場 所：柳川リハビリテーション病院

8) 令和元年度厚生労働省指定臨床実習指導者講習会 運営予定

第2回

日 時：令和元年11月30日(土)・12月1日(日)

場 所：小倉リハビリテーション学院

第3回

日 時：令和2年2月開催で調整中(福岡市内)

9) 九州作業療法士会会長会主催合同研修会 ～リーダー育成研修会～

日 時：令和元年10月26日(土)14:00～

17:30(13:30受付開始)

～令和元年10月27日(日)9:20～

12:30(9:00受付開始)

場 所：宝山ホール

(鹿児島県文化センター)3階第6会議室

10) 九州作業療法士会会長会九州MTDLP推進会議企画研修

開催日：2019年10月26(土)

会 場：鹿児島大学医学部保健学科共通教育棟

3. 教育部主催研修会

1) 精神分野(現職者選択研修)

日 程：令和元年7月28日(日)

場 所：ウエルとばた(多目的ホール)

参加人数：96名(欠席者4名)

2) 老年期分野

テーマ：認知症

日 程：令和元年8月25日(日)

場 所：なみきスクエア(福岡市東区千早)

参加人数：39名(欠席5名)

3) 地域分野

テーマ：人の惹きつけるニーズの導き方

～地域でOTはどう活躍するか～

日 程：令和元年9月29日(日)

場 所：リファレンス駅東ビル貸会議室

4) MTDLP関連研修会

1) MTDLP基礎研修会(福岡ブロック)

日 程：令和元年8月18日(日)

場 所：リファレンス大博多ビル

参加人数：75名

2) MTDLP事例検討会

①福岡ブロック

日 程：令和元年7月18日(木)19時～

場 所：桜十字福岡病院

参加人数：発表1名、聴講23名(発表者含む)

※荒天にため参加者の安全を優先し、短縮して開催した。2名の発表予定を1名のみ実施。

②北九州ブロック

日 程：令和元年9月15日（日）10時～

場 所：レインボープラザ

参加人数：発表 3名、聴講 9名（発表者含む）

③福岡ブロック

日 程：令和元年9月19日（木）19時～

場 所：桜十字福岡病院

参加人数：発表2名、聴講10名（発表者含む）

5) 臨床実習指導者講習会

第1回

日 程：令和元年9月15日（日）・16日（月）

場 所：国際医療福祉大学福岡保健医療学部
（大川市）

参加人数：94名（直前キャンセル6名）

【学術部】

1. 第23回福岡県作業療法学会 準備委員会

1) 第9回準備委員会

日 程：令和元年7月4日（木）19:00～

場 所：アイエック訪問看護ステーション
サテライト西

出 席：12名

内 容：名義後援依頼先の検討、学会誌編集
スケジュールの検討、査読委員につ
いての検討、運営に関する検討、機
器展示企業募集に関する検討、ナイト
セミナー企画に関する検討

2) 第10回準備委員会

日 程：令和元年8月22日（木）19:00～

場 所：アイエック訪問看護ステーション
サテライト西

出 席：12名

内 容：司会・座長の依頼先検討、名義後援
依頼文書の作成、機器展示企業に関
する検討、市民公開講座ポスターの
検討、査読依頼の実施、講師への学
会誌掲載文書依頼、ナイトセミナー
についての検討

2. 第23回福岡県作業療法学会

日 時：令和2年2月15日（土）、16日（日）

会 場：電気ビル共創館3階フロア
（福岡市中央区渡辺通2丁目1-82）

テーマ：構（Set up）～その人らしさを描く
作業療法のアイデンティティ～

<https://fukuokaot.com>



学会ホームページQRコード

3. 『作業療法・福岡』第18号投稿論文募集

ISSN(国際標準逐次刊行物番号)1881-6010

発刊予定：令和2年3月

募集原稿：原著、短報、報告、症例報告など

募集期間：令和元年9月30日（月）17:00まで
現在、投稿数3件（9月25日時点）。

【保健福祉部】

活動報告

1) 認知症作業療法推進委員会

(1) 令和元年度第1回認知症作業療法推進会議

①日 時：令和元年9月2日（月）

②場 所：いきいき那珂デイサービスセンター

③出席者：都甲幹太、平岡敏幸、中島純二、
島本和孝、深井伸吾

内 容：アップデート研修、次年度活動予定
について

2) 地域包括ケアシステム推進会議

(1) 第4回 地域包括ケアシステム推進会議

①日 時：令和元年9月27日（金）

②場 所：いきいき那珂デイサービスセンター

③内 容：地域ケア会議、地域包括ケアシス
テム推進研修、総合事業について

④出席者：15名

【広報部】

<公2>

・企画会議開催

日時：2019年8月26日（月）19時～21時

場所：福岡市民福祉プラザ（ふくふくプラザ）

内容：

1. 県協会サイトについて

2. 第1回九州作業療法学会企画について
（報告と今後）

3. LINE公式アカウントの活用について

・会報発行

第137号（2019年10月15日発行）

【今後の予定】

<公2>

・企画会議開催

日時：2019年10月28日（月）19時～21時

場所：福岡市民福祉プラザ（ふくふくプラザ）

内容：

1. 県協会サイトについて

2. LINE公式アカウントの活用について

3. 作業療法フェスタについて

・会報発行

第138号（2020年1月15日発行）

【企画委員会】

1) 活動報告

(1) 事業企画会議

①日 時：令和元年7月17日（水）

- ②場 所：作業療法協会事務局
 ③出席者：田中聡，佐藤稔，峯浩一，
 高崎弘嗣，御木大地，千々和萌，手嶋正弘
 ④内 容：百万人の介護予防事業企画会議
 (2) 事業企画会議
 ①日 時：令和元年8月26日（月）
 ②場 所：作業療法協会事務局
 ③出席者：田中聡，佐藤稔，立野美奈，峯浩一
 高崎弘嗣，御木大地，千々和萌，手嶋正弘
 ④内 容：令和元年度西日本国際福祉機器展
 事業企画会議
 (3) 百万人の介護予防事業
 （北九州市担当者との合同）会議
 ①日 時：令和元年8月26日（月）
 ②場 所：北九州市認知症支援介護予防
 センター（アシスト21）
 ③出席者：竹中祐二，佐藤稔，濱本孝弘，
 平岡敏幸，田中聡，高崎弘嗣，権藤有紀，
 内村奈々瀬，藤本香代
 ④内 容：百万人の介護予防事業に関する情報
 交換
 (4) 啓発用具作成会議
 ①日 時：令和元年9月26日（木）
 ②場 所：作業療法協会事務局
 ③出席者：田中聡，佐藤稔，峯浩一，
 御木大地，手嶋正弘，内村奈々瀬，長城晃一
 ④内 容：令和元年度西日本国際福祉機器展
 啓発用具作成会議

【北九州ブロック】

活動報告

- 1) ブロック企画会議開催
 日 時：令和元年7月1日（月） 19:00～
 場 所：北九州市認知症支援・介護予防
 センター
 日 時：令和元年9月2日（月） 19:00～
 場 所：（公社）福岡県作業療法協会事務所
 2) 地域ケア会議ステップアップ研修会（保健福
 祉部主催）
 日 時：令和元年6月30日（日） 10:00～15:00
 会 場：リファレンス大博多貸会議室
 テーマ：地域に求められる作業療法士とは
 ～地域包括ケアに向けて～
 参加者：10名 ＊全体で47名参加

＜小倉北・門司エリア＞

- 1) エリア事業企画会議開催
 日 時：令和元年7月11日（木） 19:00～
 場 所：新小文字病院すみれ寮
 日 時：令和元年9月19日（木） 19:00～
 場 所：新小文字病院すみれ寮

＜小倉南・京築エリア＞

- 1) エリア事業企画会議開催
 日 時：令和元年7月8日（月） 19:00～

- 場 所：小波瀬コミュニティーセンター
 2) 第3回北九州ブロック研修会
 日 時：令和元年8月9日（金） 19:00～21:00
 会 場：九州栄養福祉大学小倉南区キャンパス
 テーマ：脳卒中後の自動車運転再開への取り組
 み
 講 師：飯田真也氏（産業医科大学病院）
 参加者：80名

＜八幡西・遠賀・中間エリア＞

- 1) エリア事業企画会議開催
 日 時：令和元年8月7日（水） 19:00～
 場 所：東筑病院

＜八幡東・戸畑・若松エリア＞

- 1) エリア事業企画会議開催
 日 時：令和元年9月3日（火） 18:30～
 場 所：あやめの里
 2) 第2回北九州ブロック研修会
 日 時：令和元年7月17日（水） 19:00～21:00
 会 場：戸畑共立病院3階セミナールーム
 テーマ：大腿骨頸部骨折・大腿骨転子部骨折の
 リハビリテーション
 講 師：田原尚直氏
 （戸畑共立病院 主任外科部長）
 参加者：102名

＜広報部＞

広報誌「北九OTネットvol. 31」発行

【福岡東ブロック】

【事業区分 公1】

- 1) 事業企画会議
 (1) 第5回事業企画会議
 日 時：2019年7月8日（月）19時00分～21時
 場 所：福岡青洲会総合病院
 内 容：理事会報告，8月の研修会運営分担，
 11月研修会の企画
 参加者：8名
 (2) 第6回事業企画会議
 日 時：2019年7月11日（木）19時00分～21時
 場 所：あおぞら古賀デイサービス
 内 容：理事会報告，10月研修会運営分担，
 11月研修会企画
 参加者：8名
 (3) 第7回事業企画会議
 日 時：2019年8月23日（金）19時00分～21時
 場 所：宗像水光会総合病院
 内 容：現在の予算執行率について，来年度の
 活動計画
 参加者：7名
 2) 研修会報告
 (1) 2019年度 第3回 福岡東ブロック研修会
 日 時：2019年5月11日（土）14時～18時
 場 所：福岡青洲会病院 検診棟 4階講堂講
 講 師：松永 ゆり子先生

(医療法人CLSすがはら在宅事業部部長
認定作業療法士)

テーマ：「地域のニーズに応じる多能工作業
療法の展開」

参加者：29名

【事業区分 公2】

1) Facebook 「公益社団法人福岡県作業療法協会
福岡東ブロック」

研修会情報等随時更新

2) LINE@「公益社団法人福岡県作業療法協会
福岡東ブロック」

研修会情報等随時更新 会員連絡方法使用.

【福岡ブロック】

1) 令和元年度 事業企画会議

(1) 第3回

日 時：令和元年8月7日(水) 19:00～20:30

場 所：都久志会館502会議室(福岡市中央区)

参加者：18名

(2) 第4回

日 時：令和元年10月10日(木) 19:00～20:30

場 所：都久志会館502会議室(福岡市中央区)

2) 令和元年度 福岡ブロック研修会

(1) 第1回

日 時：令和元年7月26日(金) 19:00～21:00

場 所：白十字病院 東館2階 第1・2講義室

内 容：「リハスタッフのための急変対応
～事例検討を通して～」

講師名：土倉 万代先生

(土倉内科循環器クリニック 看護師)

参加者：30名 (作業療法士 会員)

(2) 第2回

日 時：令和元年8月21日(水) 19:00～20:30

場 所：桜十字福岡病院研修室

(福岡市中央区)

内 容：「地域包括ケア構築に向けた福岡市の
取り組み」

講師名：中藺 泰浩氏

(福岡市保健福祉局高齢社会部地域包括ケア
推進課 課長)

参加者：28名 (作業療法士 会員)

【筑後ブロック】

〈公1〉

事業企画会議

1) 有明地区事業企画会議

第2回

日 時：令和元年7月22日(月) 18:00～19:30

場 所：デイサービス ライズ

第3回

日 時：令和元年9月9日(火) 18:00～19:30

場 所：デイサービス ライズ

2) 朝倉地区事業企画会議

第2回

日 時：令和元年7月2日(水) 19:00～

場 所：甘木中央病院

第3回

日 時：令和元年9月2日(火) 19:00～

場 所：甘木中央病院

3) 第3回広報部事業企画会議

日 時：令和元年7月22日

場 所：松岡病院

4) 第3回筑後ブロック事業企画会議

日 時：令和元年8月19日(月)

場 所：筑後商工会議所

2. 研修会

1) 八女筑後地区研修会

日 時：令和元年8月23日(金)

場 所：サザンクス筑後

2) 有明地区研修会

日 時：令和元年8月22日(木) 19:00～21:00

場 所：帝京大学 福岡医療技術学部

テーマ：「脳卒中片麻痺に対する装具療法の
実際」

講 師：遠藤正英氏(桜十字福岡病院リハビリ
テーション部科長 理学療法士)

3) 令和元年度第1回福岡県作業療法協会
筑後ブロック分野別研修会

日 時：令和元年7月7日(日) 10時～12時

場 所：専門学校久留米リハビリテーション
学院

開催内容

・身体障害部門

テーマ：橈骨遠位端骨折の理論と実践

講 師：安部源生先生(医療法人藤心会黒田
整形外科病院リハビリテーション科
科長 作業療法士)

・地域・老年期障害部門

テーマ：在宅での認知症の暮らし方

講 師：元田真一先生(株式会社シンパクト
代表取締役 作業療法士)

・精神障害部門

テーマ：家族支援の実践

講 師：若松伸宏先生(福岡県立精神医療
センター大宰府病院 作業療法士)

・発達障害部門

テーマ：比較的軽度な発達障害のある子ども
への作業療法

講 師：長野清一郎先生(いきいきHAPPY
WORK津福 作業療法士)

【今後の活動予定】

〈公1〉

1. 事業企画会議

- 1) 第3回筑後ブロック事業企画会議
日 時：令和元年10月21日（月）19:00～
場 所：筑後商工会議所
2. 研修会
 - 1) 令和元年度筑後ブロック
久留米地区全体研修会
日 時：令和元年11月以降
場 所：えーるピア久留米
 - 2) 朝倉地区研修会
日 時：令和元年11月
場 所：甘木中央病院
内 容：「認知症について」
講 師：古賀 寛氏
(こころホスピタル院長 医師)
- 3) 令和元年度事例検討報告会
 - 第1回
日 時：令和元年10月17日（木）
場 所：えーるぴあ久留米
 - 第2回
日 時：令和元年11月13日（水）
場 所：久留米リハビリテーション学院
 - 第3回
日 時：令和2年1月17日（金）
場 所：介護老人保健施設アルファ俊聖
 - 第4回
日 時：令和2年2月13日（木）
場 所：帝京大学福岡医療技術学部



国際医療福祉大学大学院

INTERNATIONAL UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE GRADUATE SCHOOL

福岡キャンパス (福岡県福岡市)

大川キャンパス (福岡県大川市)

医療福祉学研究科

修士課程

保健医療学専攻
作業療法学分野／理学療法学分野／言語聴覚分野／リハビリテーション学分野／医療福祉教育・管理分野／災害医療分野／遺伝カウンセリング分野 など

医療福祉経営専攻
医療福祉国際協力学分野／先進的ケア・ネットワーク開発研究分野／医療福祉学分野／医療福祉ジャーナリズム分野／医療福祉・国際医療マネジメント分野 など

博士課程

保健医療学専攻
作業療法学分野／理学療法学分野／言語聴覚分野／リハビリテーション学分野／福祉支援工学分野／医療福祉国際協力学分野／先進的ケア・ネットワーク開発研究分野／医療福祉学分野／医療福祉ジャーナリズム分野 など

修了者数

修士課程 (平成12～30年度)	
■保健医療学専攻	1,965名
・作業療法学分野	137名
■医療福祉経営専攻	718名

博士課程 (平成15～30年度)

■保健医療学専攻	303名
・作業療法学分野	12名

主な講師陣

●作業療法学分野	杉原素子教授	●言語聴覚分野	深浦順一教授
●理学療法学分野	久保見教授	●医療福祉教育・管理分野	丸山仁司教授
●災害医療分野	石井美恵子教授	●遺伝カウンセリング分野	四元淳子講師
●医学研究科	三浦総一郎教授(大学院長)、辻省次教授		

◆多くの授業を平日夕方以降と土曜日に開講。eラーニング科目も充実

◆福岡・大川・大田原・成田・東京赤坂・小田原・熱海に7つのキャンパスを設置

◆医療福祉における第一人者の講義を、複数のキャンパスで受講できる「同時双方向遠隔授業システム」

※専攻、分野によっては、受講できるキャンパスが限られているものがありますので、詳細につきましてはお問い合わせください

※修士課程は、短大・専門学校を卒業した満22歳以上の方も出願可能





2020年4月、大川キャンパスに福岡薬学部薬学科を開校

2015～2017年度 薬剤師国家試験合格率 3年連続私立大学全国1位の大田原キャンパス(栃木県)「薬学部」(2005年開設)の教育理念やカリキュラムを踏襲し、質の高い薬学教育を実現し、学部と大学院の一体教育をさらに充実させます。

分野・領域についてのお問い合わせ・資料請求先

国際医療福祉大学大学院

URL <https://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/>

福岡キャンパス

〒814-0001
福岡市早良区百道浜2-4-16
TEL 092-407-0434
E-mail fukucamp@iuhw.ac.jp

大川キャンパス

〒831-8501
福岡県大川市榎津 137-1
TEL 0944-89-2000
E-mail ocamp@iuhw.ac.jp

私の生活すべて

株式会社LikeLab 保育所等訪問支援Switch 藤川 貴子

「Occupation」の依頼後、改めてその意味を調べてみました。私が調べた中でも12個の意味がありました。①「職業」→（生計を立てる）仕事、②業務、③（楽しみまたは日常生活の一部としての）時間の費やし方、④気晴らし、⑤従業、⑥（土地・家屋などの）占有、⑦居住、⑧（地位・職などの）保有、⑨占有、占領期間、⑩占領・侵略、⑪余技・趣味、⑫占拠・占有…似たものもありますが、改めて「Occupation」の奥深さを感じました。

私は作業療法士になって26年目になりました。すべて発達分野に携わってきました。最初の10年は臨床現場、次の15年が教育現場、そして今年度から福祉分野で、26年目にして新人となりました(笑)。自分よりも若いスタッフ・関係者の方々の中で、戸惑うことも多々あり、今までになかった無力感も生じています。そんな私ですが、どの職場においても「人に恵まれている」ということを、日々感じています。26年目を迎えた作業療法士人生、もちろん嫌なことも沢山ありましたが(笑)今になってみると、それらすべてのできごとが私にとってはプラスの意味をもっており、「今」と「今から」につながっている、と感じます。そんな風に感じるができるのは「Occupation」に関わる道を選び、学び、社会に出たことで、とても人を好きになれたからだと思います。上記にあるように私が調べただけでも12個の意味を持つ「Occupation」ですが、私の生活すべてが、上記の⑥⑦⑨⑩⑫以外にあてはまります。平日は、朝起きて、洗濯をしながら朝食とお弁当の準備をして、子どもを駅まで送り、自分の食事と身支度を済ませて出勤し、業務をこなして帰宅し、洗濯物を畳みながら夕食の準備をする…かなりざっくりとした1日ですが、どれも私にとっては大切な「Occupation」です。その時々で①②③④⑤⑧⑪のどれにあてはまるかは変わりますが…。教育現場にいた際に「対象者にとって『意味のある作業』とはなんだろう」と学生さんとよく話しました。でも（こんなことを書いたら怒られるかもしれませんが）「意味のない作業」なんてないのではと思います。人が行う作業すべて、必ず何かの意味や役割をもっているのでは…と。ただ、人によって作業を展開できる（という表現が適切かはわかりませんが）時間は異なると思いますので、優先順位は必要です。より対象者にとって優先順位の高い（＝意味のある、なのでしょうね）作業を対象者やご家族・関わる方々と考え、それを実現する支援をさせていただくのが、今の私の役割です。まだまだ足りないことだらけ、助けていただくことも多いですが、この仕事に就くことができて、私は幸せです。

私には上記にある平日の1日以外にも③④⑩にあたる大切な「Occupation」があります。それはドッジボールの公式審判です。次女が小学生の時に所属していたクラブチームの監督からお声掛けいただき、資格を取って6年目になります。週末は、仕事や子どもの大会などがなければ、ほぼドッジボールに時間を費やしています。試合を上手く処理できず、先輩審判さんから厳しく指導され、昇級試験にも2度落ち、周囲からは「そこまでして続ける意味があるのか」と心配されたこともありましたが、審判になったからこそその出会いも沢山あり（なんとその中には母校の後輩PTくんもいるのです）、ここでも「私は人に恵まれている」と感じることができました。この原稿の締切日が3度目の昇級試験です。一緒に頑張ってきた仲間と今度こそは合格し、お世話になった方々と祝杯をあげる予定です。依頼内容から離れてしまった部分もあるかもしれませんが、自分の「Occupation」を考えるよい機会になりました。1度断った私に「元気と言えば藤川さんだから」と執筆の依頼をしてくださったK学園のTさんに感謝します！



リレーエッセイ

一般財団法人 平成紫川会 小倉記念病院

一ノ瀬 拓朗

みなさま、はじめまして、小倉記念病院の一ノ瀬拓朗と申します。私は小倉記念病院に入職して6年目になります。

さて、当院の紹介です。小倉記念病院は小倉北区にある656床の急性期病院です。平成28年には創立100周年を迎えています。心臓血管病棟からは小倉の街並みや紫川から若松響灘方面、総合病棟からは日本製鉄工場、小倉港、ミクニワールドスタジアム北九州、関門海峡方面が見えるJR小倉駅に隣接する病院です。夏には、わっしょい百万大花火大会も見ることができます。

リハビリテーション課は心臓リハビリテーション室と心臓血管病棟チーム、総合病棟チームがあり、私は心臓血管病棟チームに所属しています。心臓血管病棟は循環器内科、血管外科、心臓血管外科があり、OT2名体制で担当しています。（総合病棟OT5名体制）

現在は集中治療室（ICU、SCU、CCU、セミCCU）から循環動態や全身状態に応じて入院早期より介入しています。

また、腎臓内科病棟の腹膜透析（PD）カンファレンスに包括的なチームアプローチとしてOTへの依頼をきっかけに関わっています。当科では腎代替療法に関して、透析が必要となった際に腹膜透析からの開始を勧める「PDファースト」ポリシーを掲げています。

その中で、年1回の腹膜透析患者会（PDピクニック）に参加し、体操のお兄さん（年齢的には若干40歳のお父さん？おじさん？せごどん？ですが…笑）として登場しています。

現在は上肢の運動やADL指導を実施しており、これからの目標は、今年度より入会している腎臓リハビリテーション指導士の取得を目指し、頑張っていきたいと思います。



**医療法人明和会
スポーツ・栄養クリニック福岡**

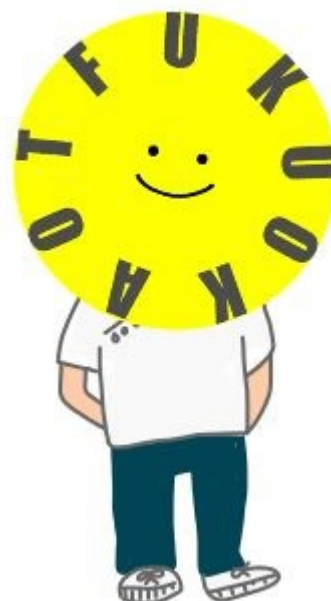
【募集職種】 作業療法士もしくは理学療法士
 【募集人員】 数名
 【雇用形態】 常勤
 【給 与】 想定月給210,000円から280,000円
 経験・能力を考慮の上決定します
 固定残業代(3万以上・月20時間分)
 残業超過分は追加支給します
 【賞 与】 有り
 【勤務時間】 月～木) 8:30～17:30
 (休憩60分)
 金～土) 8:30～12:30
 【休 日】 金曜午後、土曜午後、日曜、祝日
 その他、お盆や年末・年始の休暇
 有り
 【福利厚生】 学会発表時は参加費、交通費、
 宿泊費支給
 学会参加時は、一部補助。
 (その都度確認)
 【そ の 他】 交通費あり(上限月額1.5万円)
 【備 考】 介護保険業務領域では、通所リハ
 を主に訪問リハ兼務の場合あり
 【連絡先】
 福岡県福岡市中央区薬院1丁目5-6ハイヒルズ6階
 電話 092-791-4010
 FAX 092-791-4030
 担当者 藤谷 順三(フジタニ ジュンゾウ)

九州大学病院

【募集職種】 作業療法士(採用予定:令和2年4月1日)
 【募集人員】 1名
 【雇用形態】 国立大学九州大学 有期契約職員
 【給 与】 国立大学法人九州大学有期契約職員給与
 規程に基づき支給
 (参考)4年制大学卒 日給約9,488円～
 (月21日勤務した場合、約199,248円～)
 3年制短大・専門学校卒 日給8,920円～
 (月21日勤務した場合、約187,341円～)
 (令和元年9月現在)
 ※地域手当(基本給の約10%)を含む
 【賞 与】 あり
 【勤務時間】 週38.75時間(8:30～17:15)
 【休 日】 土日祝日、年末年始、夏季休暇
 【福利厚生】 社会保険、雇用保険、厚生年金等加入
 【そ の 他】 住居手当、通勤手当、時間外勤務手当
 期末・勤勉手当、年度一時金等
 【備 考】 年度毎の更新とし、3年を限度とする
 (以後更新の場合あり、最大5年まで)
 ※以後、勤務成績により常勤(任期の定め
 ない職員)に配置転換の可能性有
[https://www.hosp.kyushu-u.ac.jp/
 recruit/detail/142/](https://www.hosp.kyushu-u.ac.jp/recruit/detail/142/)
 【連絡先】
 〒812-8582
 福岡市東区馬出3丁目1番1号
 九州大学病院総務課人事係 担当:中島
 Tel 092(642)5024(ダイヤルイン)

株式会社ケアリング

【募集職種】 作業療法士or理学療法士
 【募集人員】 5名
 【雇用形態】 ①正社員or②パート
 【給 与】 ①200,000円～236,400円
 ②1000円～1400円
 【賞 与】 ①年2回 ②支給なし
 【勤務時間】 ①8:30～17:30
 ※デイサービス以外の事業所の場合、
 早出・遅出有
 ②4～8時間/週2日以上
 【休 日】 ①月9日休(2月は8日)/年間休日107日
 【福利厚生】 社会保険完備
 【そ の 他】 通勤費①上限2万まで②上限1.5万まで
 【配属施設/事業所】
 ○博多支店(福岡市博多区半道橋1-18-35)/デイサービス
 ○城南支店(福岡市城南区片江1-20-10)/デイサービス・
 看護小規模多機能
 ○宮崎支店(福岡市東区馬出4-3-8)/デイサービス・看護
 小規模多機能・訪看ステーション
 ○北九州支店(北九州市八幡西区9-30)/デイサービス
 【連絡先】
 住所:福岡市博多区千代3-6-3 千代大学通2階
 電話番号:092-642-7888
 FAX番号:092-642-7880
 担当者:栗原 雄二



異動の際の手続きについて

職場・自宅等の変更のあった方は、必ず文書で県協会事務局へご連絡下さい。

協会ホームページ (<http://www.fuku-ot.org/>) へアクセスし、入会・異動・退会の項から届出用紙をダウンロードして下さい。

用紙に異動前・後の施設名、郵便番号、住所、電話番号を明記して下さい。自宅住所の変更もお忘れなくお願いします。

ご不明な点は、福岡県作業療法協会事務所までお問い合わせ下さい。

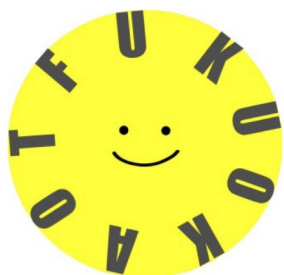
TEL 093-952-7587

編集後記

今回の特集は産業医科大学病院の飯田真也先生に執筆を依頼致しました。脳卒中後の自動車運転再開は日本作業療法協会も特設委員会を立ち上げて特に力を入れて取り組んでいるテーマの一つです。飯田先生は「福岡県安全運転医療連絡協議会」の主要メンバーであり、福岡県内の自動車運転再開の取り組みの統一化は図るための重要な方です。自動車運転再開の取り組みは一施設で行うには限界があります。今後、他施設、自動車教習所、免許試験場での連携が必須な分野です。福岡県でも免許試験場に作業療法士が採用されるといいですね。飯田先生、この度は御執筆を快くお引き受けいただき感謝致します。ありがとうございました。

福岡県作業療法協会LINE公式アカウントができました。福岡県作業療法協会主催研修会やイベントなどの情報をいち早く会員の皆様にお届けします。ぜひ登録をお願い致します！

(許山)



公益社団法人
福岡県作業療法協会

LINE公式アカウント

福岡県作業療法協会主催研修会や会員用ニュースなど、会員の皆様へ情報をいち早くお伝えします！

追加方法

・友達追加 → 公式アカウントID

→ @ykm7554i で検索

・もしくはLINE QRコードより登録ください

友達募集中！

